

横暖ルーフ

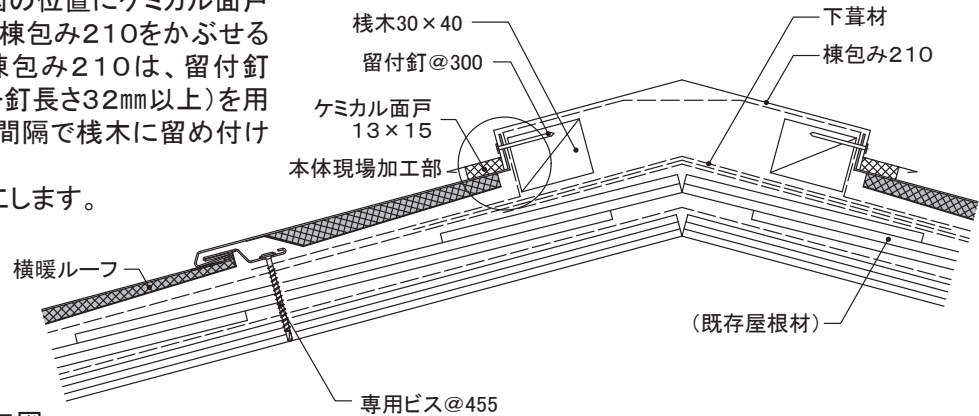
工法
重ね葺き

既存屋根材
セメント系新生瓦
アスファルトシングル

6) 隅棟部

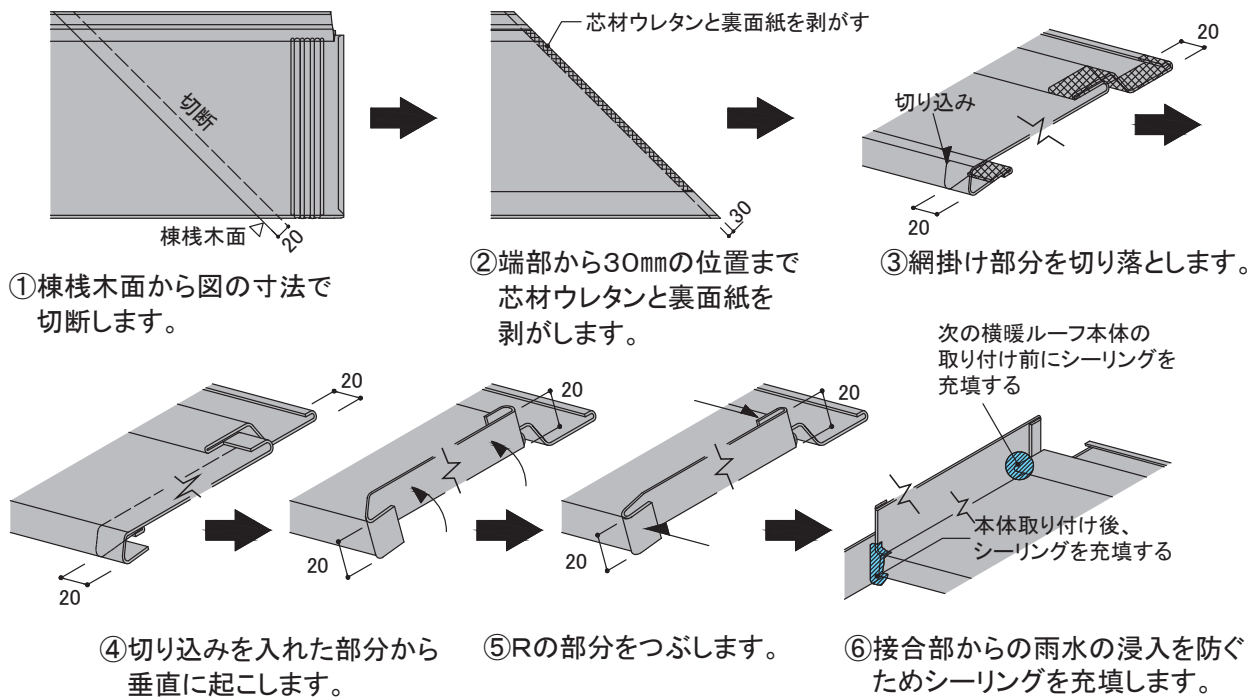
① 棟包み210

- 既存屋根材に、下葺材を張ります。
 - 桟木30×40を外側2ヶ所取り付け、桟木を包むように下葺材を増し張りします。
- ※ 工事中は棟包み210に乗らないでください。工具、部材も置かないでください。棟包み210が変形するおそれがあります。
- 隅棟部は図のように加工した横暖ルーフ本体を施工し、本体の図の位置にケミカル面戸13×15を貼り付け、棟包み210をかぶせるように施工します。棟包み210は、留付釘(ステンレスクリュー釘長さ32mm以上)を用いて、300mm以下の間隔で桟木に留め付けます。
 - 剣先は図のように施工します。



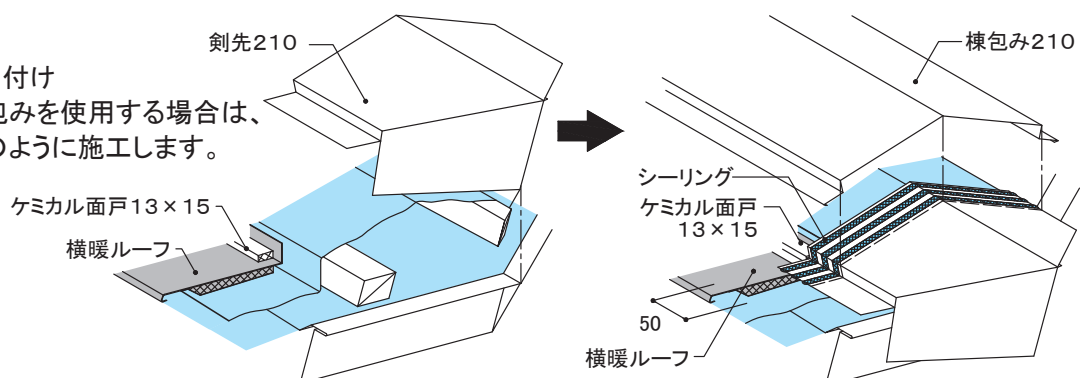
■ 施工ポイント・現場加工図

- 横暖ルーフ本体の隅棟部分は、図のように加工します。



■ 剣先の取り付け

- 隅棟に棟包みを使用する場合は、剣先を図のように施工します。



設計
外壁リフォーム

事前調査の方法

標準施工法
外壁リフォーム

モエンサイディング
重ね張り工法

モエンサイディング
張り替え工法

センターサイディング
重ね張り工法

設計
屋根リフォーム

センタールーフ
重ね葺き工法

アルマ
重ね葺き工法

参考資料